

室町だより

平成29年3月21日 N015 後期児童からの評価特集号

京都市立室町小学校 校長 山田 栄造

TEL(075)431-0358 Fax(075)431-0359

学校 HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/muromachi-s/>

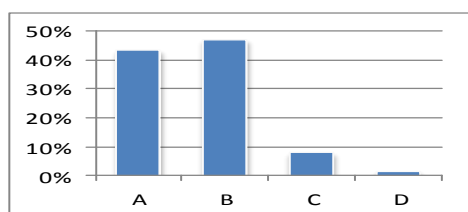
少しずつ春の暖かさを感じる季節になりました。最高学年の6年生は、23日の卒業式に向けて準備を整えています。

さて、後期も1月に児童からのアンケートを実施し、その結果を下記のようにまとめました。子どもたちが意欲的に学校生活を送り、よりよい学習集団が育つよう、評価をいかした学校改善を図る取組をさらに進めていきたいと考えています。



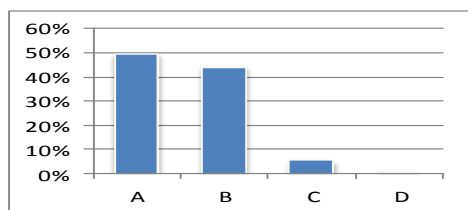
＜評価項目＞ A:大変よくできている。B:できている。C:少しできていない。D:できていない。

NO.1 今学校や学級は楽しいですか。



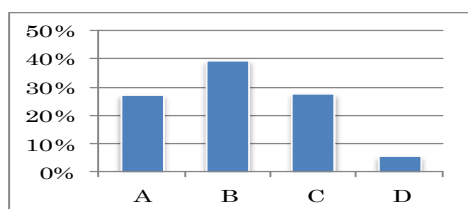
A・Bのポイントを合わせると90%となり、子どもたちはおおね楽しく学校生活を送っているといえる。しかし、前期に続き、学校や学級を楽しくないと感じている子どもも見られた。一人一人の思いに寄り添い、一人一人が大切にされる学級づくりができているか、再度教職員全体で見直し、来年度につなげていきたい。

NO.2 友だちと仲良く協力して学級の活動をしていますか。



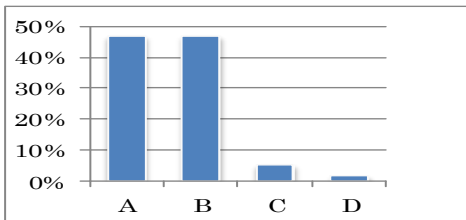
A・Bのポイントを合わせると93%となった。子どもたちは、学習や行事を通して、協力し合って活動を進めてきた。協力して活動する中で、学級のまとまりも見られてきた。卒業・修了に向けて、さらに協力して活動を進めていくことができるよう指導していきたい。

NO.3 学習中発表がよくできていますか。



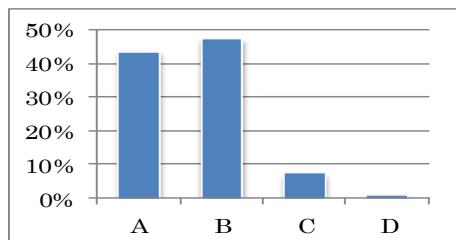
A・B合わせて68%で、前期よりも下がった。話す形態やテーマなどを工夫し、安心して話すことができる学習集団を作っていく必要がある。また、指導者が意図的に自分の考えを話す場を設定し、話す機会を保障していくことができるようにしたい。

NO.4 先生や友達の話をよく聞いて学習していますか。



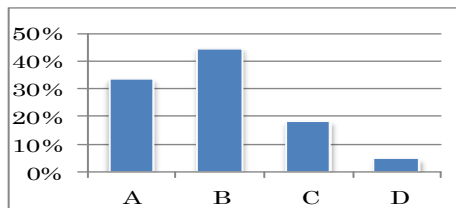
98%の子どもが、先生や友達の話をよく聞いていると答えた。相手の話をしっかり聞くことは、学習するうえでとても大切なことだ。話を聞くという学習姿勢が育ってきているので、さらに学年に応じて、要旨を聞き取る力、比べて聞く力などが身に付くよう指導を進めていきたい。

NO.5 学習(授業)はよくわかりますか。



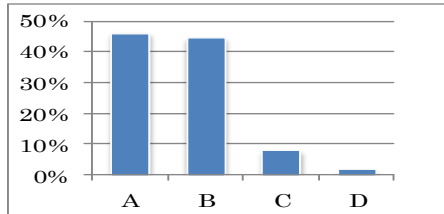
A・Bを合わせると91%で、授業についてよく理解できている子どもが多い。C・Dと答えた子どもについては、各担任が個々に把握し、子どもたちのつまづきを見極め、指導していく必要がある。また、どの子どもも分かる授業を目指し、指導者の授業力を向上させていきたい。

NO.6 先生にいろいろなことを話しますか。



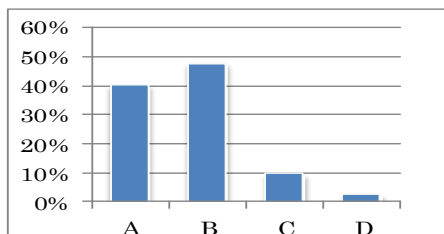
先生に話せている子どもは77%で、前期に比べて3%下がった。C・Dの中には、「話しているけれどももっと話したい。」という子ども、先生に話す必要性をあまり感じていない子どもが見られる。担任が子どもたちの話に耳を傾ける時間を設けたり、率先して話しかけたりして、信頼関係を深める工夫をしていきたい。

NO.7 先生は自分たちのことをよくわかっていてくれると思いますか。



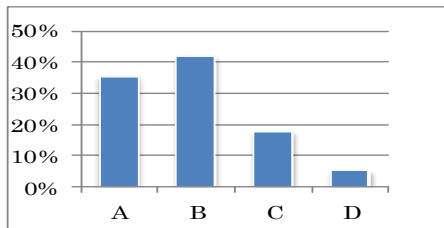
A・Bを合わせると90%で、先生は概ね自分を理解してくれていると感じているようだ。「先生とあまり話さない」と答えた子どもも理解してもらっていると感じているようなので、今後も、表情や日頃の様子に気を配り、子どもたちの思いが理解できるようにしていきたい。

NO.8 すすんで挨拶をしていますか。



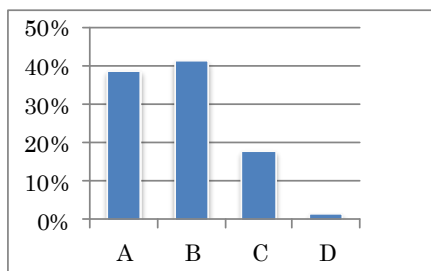
88%の子どもが、すすんで挨拶していると答えているが、保護者アンケートの結果では77%である。(前期よりやや増)声をかけられると挨拶を返せるが、自分から元気な声で挨拶できにくい様子が見られる。挨拶の大切さを改めて指導し、学校・家庭・地域で意識して取り組んでいきたい。

NO.9 早寝・早起・朝ご飯など規則正しく生活していますか。



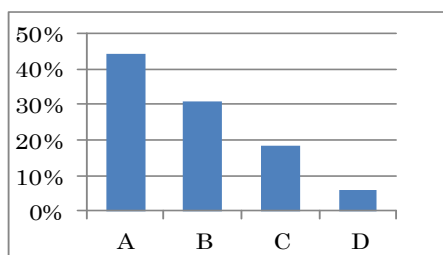
A・Bを合わせると77%で、前期よりやや下がった。寒い冬の日の朝は、なかなか起きられなかったり、高学年になると習い事などで忙しく、寝るのが遅くなったりしがちである。家庭とも協力し、規則正しい生活ができるよう声かけをしていきたい。

NO.10 宿題や自主学習に、自分から取り組んでいますか。



A・B合わせて80%で、自分から取り組むことができる子どもが多い。しかし、保護者の評価は65%である。宿題はしなくてはならないという意識はあるが、自主的に取り組もうとする姿勢についてはまだまだ声かけ、指導が必要である。子どもたちが意欲的に取り組めるような課題を用意したり、励みになる声かけを行ったりして工夫していきたい。

NO.11 すすんで読書をしていますか。



A・Bのポイントを合わせると76%で、前期に比べ7%下がった。今年度100冊読書を達成した子どもは多く見られたが、一方で進んで取り組めなかった子どもも見られ差ができた。読書はすべての学習の土台となる力である。図書館の本のより一層の充実を目指していくと共に、学校・家庭双方で声かけを行い、読書に親しむことができる子どもを育てていきたい。